学校番号	T0315

令和８年度　外国語科

教科	外国語	科目	（学）韓国・朝鮮語	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	自作プリント						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

読む、書く、話す練習を繰り返し行い、基礎的な韓国語を学びましょう。

2　学習の到達目標

基礎的な韓国語の知識や技能を身につける。 基礎的な韓国語で自分のことを表現することができる。 基礎的な韓国語を用いて積極的に話したり書いたりする態度を身に付ける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	実際に韓国語を用いた言語活動を通して、基礎的な名詞や肯定文、否定文、疑問文について理解するとともに、実際のコミュニケーションにおいて活用できるやや基礎な知識・技能を身に付ける。	情報を整理しながら考えなどを形成し、基礎的な韓国語で表現したり、伝えたりする。論理的に適切な日本語で表現することができる。	自ら進んでコミュニケーションを取り、身近な出来事や日常的な話題について、学習した基礎的な韓国語を用いて自身の考えを伝えようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	ハングル	ハングルの学習	a:学習した内容を用いて実際に基礎的な韓国語を用いた言語活動を通して、名詞について理解することができる。 b:学習した内容を用いて情報を整理しながら考えなどを形成し、基礎的な韓国語で表現したり、伝えたりすることができる。 c:学習した内容を用いて自ら進んでコミュニケーションを取り、身近な出来事や日常的な話題について、学習した基礎的な韓国語を用いて自身の考えを伝えようとすることができる。	・ワークシート ・パフォーマンス課題	・ワークシート ・パフォーマンス課題	・ワークシート ・パフォーマンス課題
2学期	文の種類	肯定文についての学習 否定文についての学習 疑問文についての学習	a:学習した内容を用いて実際に基礎的な韓国語を用いた言語活動を通して、肯定文、否定文、疑問文について理解することができる。 b:学習した内容を用いて情報を整理しながら考えなどを形成し基礎的な韓国語で表現したり、伝えたりすることができる。 c:学習した内容を用いて自ら進んでコミュニケーションを取り、身近な出来事や日常的な話題について、学習した基礎的な韓国語を用いて自身の考えを伝えようとすることができる。	・ワークシート ・パフォーマンス課題	・ワークシート ・パフォーマンス課題	・ワークシート ・パフォーマンス課題

3学期	指示詞	これ、それ、あれについての学習 ここ、そこ、あそこについての学習	a:学習した内容を用いて実際に基礎的な韓国語を用いた言語活動を通して、指示詞について理解することができる。実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けることができる。 b:学習した内容を用いて情報を整理しながら考えなどを形成し、基礎的な韓国語で表現したり、伝えたりすることができる。 c:学習した内容を用いて自ら進んでコミュニケーションを取り、身近な出来事や日常的な話題について、学習した基礎的な韓国語を用いて自身の考えを伝えようとすることができる。	・ワークシート ・パフォーマンス課題	・ワークシート ・パフォーマンス課題	・ワークシート ・パフォーマンス課題

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度